



平成22年11月18日

各 位

会 社 名 関東電化工業株式会社  
代表者名 代表取締役社長 富田芳男  
(コード番号 4047 東証第1部)  
問合せ先 人事総務部専任課長 徳升聡司  
(TEL. 03 - 3216 - 4561)

平成23年3月期 第2四半期決算説明会資料


当社では、本日11月18日、アナリスト向けに平成23年3月期第2四半期決算説明会を開催いたします。

平成23年3月期第2四半期決算の概要、今後の業績見通しについて説明いたしますが、その資料を添付いたします。

以 上

平成23年3月期  
第2四半期決算説明会

---

 関東電化工業株式会社  
平成22年11月18日

1

説明内容

---

1. H23/3月期 第2四半期決算の概要
2. 業績の見通し・今後の動向

※増減率を除き、表示単位未満は切り捨てて表示

## 事業セグメント

| 名 称         |            | 内 容  |
|-------------|------------|--|
| 基礎化学<br>品事業 | 無機製品       | か性ソーダ、塩酸、次亜塩素酸ソーダ、塩化アルミニウム等  |
|             | 有機製品       | トリクロールエチレン、パークロールエチレン、塩化ビニリデン、シクロヘキサノン等  |
| 精密化学<br>品事業 | フッ素系<br>製品 | 六フッ化硫黄、四フッ化炭素、三フッ化メタン、六フッ化エタン、三フッ化窒素、ヘキサフルオロ-1,3-ブタジエン、八フッ化プロパン、六フッ化タングステン、四フッ化ケイ素、三フッ化塩素、八フッ化シクロブタン、五フッ化ヨウ素、モノフルオロメタン、フッ化カルボニル、硫化カルボニル、六フッ化リン酸リチウム、フルオロエチレンカーボネート、排ガス処理装置(エフトール)等 |
| 鉄系事業        | 鉄系製品       | キャリアー、マグネタイト、顔料、鉄酸化物等  |
| 商事事業        | 関電興産(株)    | 化学工業薬品の販売および容器整備、保険代理店業務等  |
| 設備事業        | (株)上備製作所   | 工場プラント建設、工場設備保全工事等   |

関東電化工業株式会社

3

## 事業セグメントの変更

| H22年/3月期まで |        | ⇒       | H23年/3月期より |      |
|------------|--------|---------|------------|------|
| 基礎化学品事業    | 無機製品   |         | 基礎化学品事業    | 無機製品 |
|            | 有機製品   | 有機製品    |            |      |
| 精密化学品事業    | 鉄系製品   | 精密化学品事業 | フッ素系製品     |      |
|            | フッ素系製品 | 鉄系事業    | 鉄系製品       |      |
| 化学設備関連事業   |        | 商事事業    | 関電興産(株)    |      |
| その他事業      |        | 設備事業    | (株)上備製作所   |      |

関東電化工業株式会社

4

## 関東電化グループ(連結子会社)

(単位:百万円)

|                  | 資本金         | 出資<br>比率% | H22/9末<br>個別売上高 | 対前期<br>増減 | 主要な事業内容                    |
|------------------|-------------|-----------|-----------------|-----------|----------------------------|
| 関電興産(株)          | 10          | 100.0     | 3,008           | 683       | 化学工業薬品の販売および<br>容器整備、保険代理店 |
| (株)上備製作所         | 120         | 49.4      | 1,681           | △221      | 化学工業用設備の製作・加工・<br>修理       |
| 森下弁柄工業(株)        | 27          | 52.9      | 412             | 16        | 鉄酸化物の製造販売                  |
| 関東電化KOREA<br>(株) | 2<br>億ウォン   | 90.0      | 2,455           | △143      | フッ素系製品の販売                  |
| 台湾関東電化股份<br>有限公司 | 7<br>百万NTドル | 100.0     | 876             | 257       | フッ素系製品の販売                  |

|    |       |     |
|----|-------|-----|
| 合計 | 8,435 | 593 |
|----|-------|-----|

関東電化工業株式会社

5

## 連結決算のポイント

(単位:億円)

|        | H21/9 | H22/9 | 差額 |
|--------|-------|-------|----|
| 売上高    | 177   | 201   | 24 |
| 営業利益   | △1    | 18    | 19 |
| 第2Q純利益 | △2    | 6     | 9  |

### (1) 売上高増加(+24億円)

- ・基礎化学品事業部門は、販売数量の減少により減収(△1億円)
- ・精密化学品事業部門は、販売数量の増加により増収(+26億円)
- ・鉄系・商事・設備事業部門は、設備工事の減少により減収(△0億円)

### (2) 営業利益増加(+19億円)

- ・基礎化学品事業部門は、コストダウン効果等により増益(+1億円)
- ・精密化学品事業部門は、販売数量の増加により増益(+18億円)
- ・鉄系・商事・設備事業部門は、鉄系製品の販売数量増加により増益(+1億円)

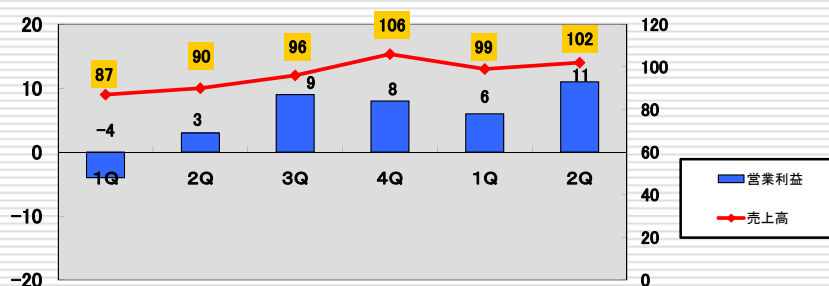
関東電化工業株式会社

6

## 四半期ごとの業績の推移

(単位: 億円)

|      | H22年3月期 |    |    |     | H23年3月期 |     |
|------|---------|----|----|-----|---------|-----|
|      | 1Q      | 2Q | 3Q | 4Q  | 1Q      | 2Q  |
| 売上高  | 87      | 90 | 96 | 106 | 99      | 102 |
| 営業利益 | △4      | 3  | 9  | 8   | 6       | 11  |



関東電化工業株式会社

7

## 基礎化学品事業部門

(単位: 億円)

|      | H21/9 | H22/9 | 差額  |
|------|-------|-------|-----|
| 売上高  | 40    | 39    | △1  |
| 営業利益 | 1.2   | 2.7   | 1.4 |

※(H21/9は新セグメント区分による組み替え参考値)

- ・売上高は、シクロヘキサン等の販売数量の減少により、前年同期に比べ減収となった。
- ・営業利益は、コストダウン効果等により、前年同期に比べ増益となった。

関東電化工業株式会社

8

## 精密化学品事業部門

(単位:億円)

|      | H21/9 | H22/9 | 差額 |
|------|-------|-------|----|
| 売上高  | 102   | 128   | 26 |
| 営業利益 | △5    | 13    | 18 |

※(H21/9は新セグメント区分による組み替え参考値)

- ・三フッ化窒素は、販売数量の増加により、前年同期に比べ増収となった。
- ・六フッ化タングステンおよびヘキサフルオロ-1,3-ブタジエンは、販売価格の低下はあったものの、販売数量の増加により、前年同期に比べ増収となった。
- ・電池材料の六フッ化リン酸リチウムは、販売数量の増加により、前年同期に比べ増収となった。フルオロエチレンカーボネートは、販売価格の低下により、前年同期に比べ減収となった。
- ・営業利益は、売上高の増加により、前年同期に比べ増益となった。

関東電化工業株式会社

9

## 鉄系・商事・設備事業部門

(単位:億円)

|      | H21/9 | H22/9 | 差額  |
|------|-------|-------|-----|
| 売上高  | 34    | 33    | △0  |
| 営業利益 | 0.7   | 1.9   | 1.1 |

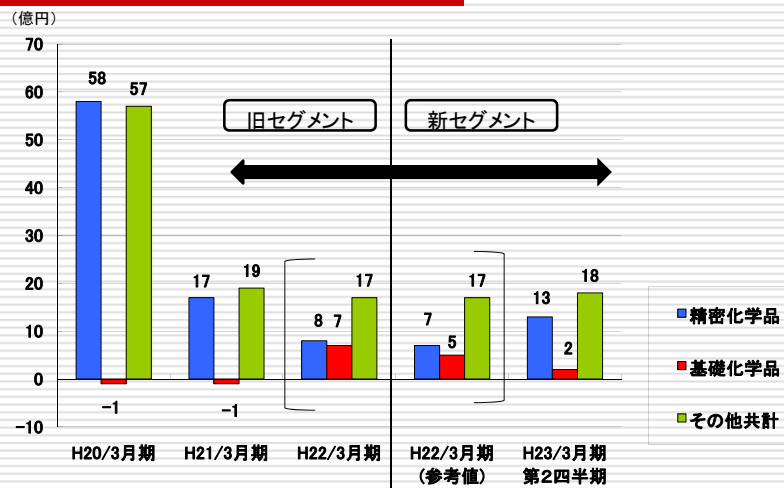
※(H21/9は新セグメント区分による組み替え参考値)

- ・鉄系事業は、キャリアーや鉄酸化物の販売数量の増加により、前年同期に比べ増収増益となった。
- ・商事事業は、連結子会社である関電興産における化学工業薬品販売の増加により、前年同期に比べ増収となったものの、利益は前年同期並みとなった。
- ・設備事業は、連結子会社である上備製作所における請負工事の減少により、前年同期に比べ減収となったものの、工事構成の差異により増益となった。

関東電化工業株式会社

10

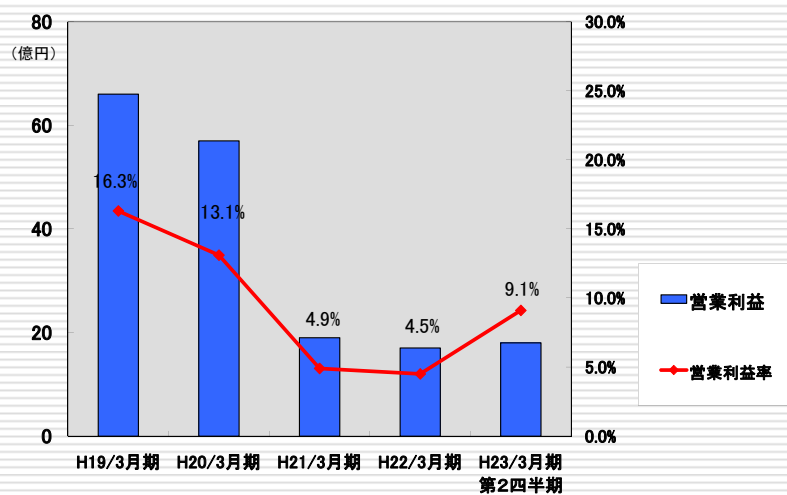
## セグメント別営業利益の推移(連結)



関東電化工業株式会社

11

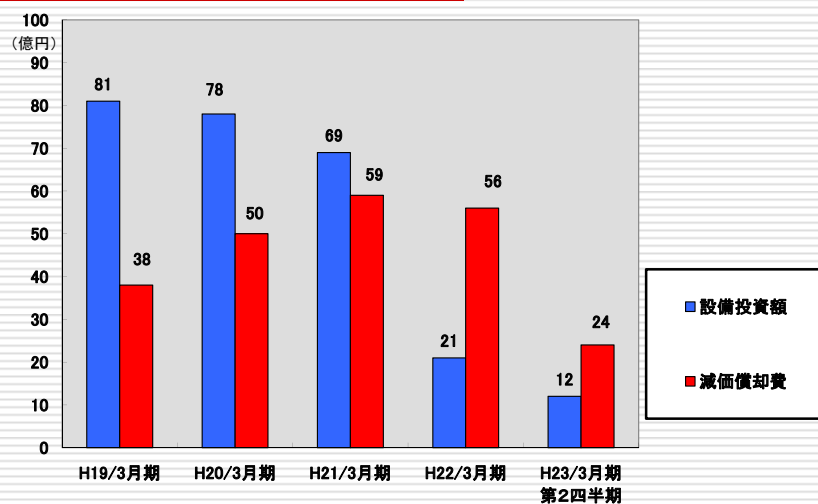
## 営業利益と営業利益率の推移(連結)



関東電化工業株式会社

12

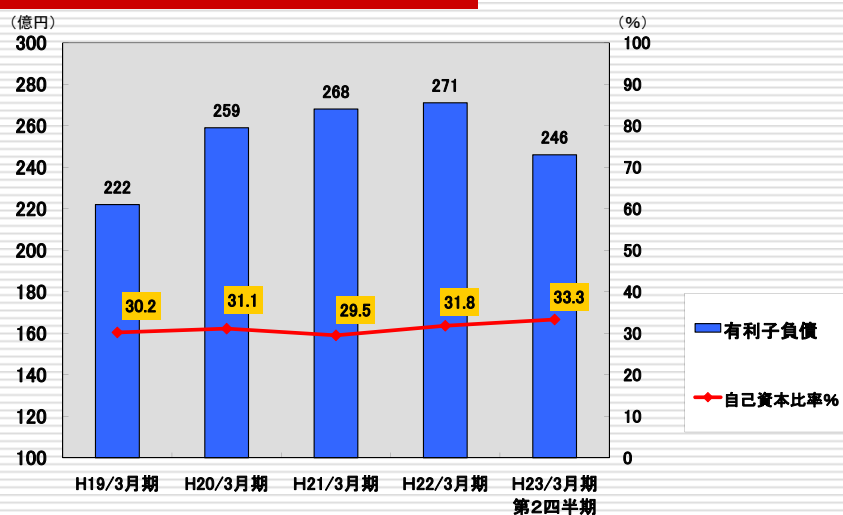
## 設備投資・減価償却費の推移(連結)



関東電化工業株式会社

13

## 有利子負債・自己資本比率の推移(連結)



関東電化工業株式会社

14



## 説明内容

1. H23/3月期 第2四半期決算の概要
2. 業績の見通し・今後の動向

## セグメント別業績予想(連結)

(単位: 億円)

|       | 売上高           |               |      | 営業利益  |               |      |
|-------|---------------|---------------|------|---|---------------|------|
|       | H22/3<br>(参考) | H23/3<br>当初見込 | 今回修正 | H22/3<br>(参考)   | H23/3<br>当初見込 | 今回修正 |
| 基礎    | 85            | 75            | 78   | 5   | 9             | 5    |
| 精密    | 229           | 270           | 267  | 7   | 24            | 28   |
| その他※  | 65            | 70            | 70   | 4   | 4             | 4    |
| 合計    | 380           | 415           | 415  | 17  | 37            | 37   |
| 設備投資  | 21            | 37            | 37   | ※H22/3実績値は新セグメントにて分類(参考値)<br>※その他には、鉄系事業、商事事業、設備事業および連結調整を含みます。<br>※為替レート見込: 85円/\$ |               |      |
| 減価償却  | 56            | 55            | 53   |   |               |      |
| 研究開発費 | 10            | 11            | 12   |   |               |      |

## セグメント別業績予想(連結) 当初予想との差

(単位:億円)

|      | 売上高    |        |        | 営業利益   |        |        |
|------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
|      | 上期実績差額 | 下期見込差額 | 通期見込差額 | 上期実績差額 | 下期見込差額 | 通期見込差額 |
| 基礎   | (3)    | (0)    | 3      | (0)    | (▲4)   | ▲4     |
| 精密   | (2)    | (▲5)   | ▲3     | (6)    | (▲2)   | 4      |
| その他※ | (1.5)  | (▲1.5) | 0      | (1)    | (▲1)   | 0      |
| 合計   | 6.7    | ▲6.7   | 0      | 7.3    | ▲7.3   | 0      |

※セグメントごとの上期・下期の売上高、営業利益の当初計画との差はイメージ  
※その他には、鉄系事業、商事事業、設備事業および連結調整を含みます。

関東電化工業株式会社

17

## セグメント別業績予想(連結) 上期下期比較

(単位:億円)

|      | H23/3売上高 |      |    | H23/3営業利益 |      |    |
|------|----------|------|----|-----------|------|----|
|      | 上期実績     | 下期見込 | 差額 | 上期実績      | 下期見込 | 差額 |
| 基礎   | 39       | 38   | 0  | 2         | 2    | △0 |
| 精密   | 128      | 136  | 7  | 13        | 14   | 0  |
| その他※ | 33       | 38   | 4  | 1         | 2    | 0  |
| 合計   | 201      | 213  | 11 | 18        | 18   | 0  |

|       |     |     |     |
|-------|-----|-----|-----|
| 設備投資  | 12  | 24  | 12  |
| 減価償却  | 24  | 28  | 4   |
| 研究開発費 | 5.6 | 6.4 | 0.8 |

※その他は、鉄系事業、商事事業、設備事業および連結調整を含みます。

関東電化工業株式会社

18

## 中期経営計画数値目標(連結)との対比

(単位:億円)

|           | H23/3計画 | H23/3見込 | H24/3計画 | H25/3計画 |
|-----------|---------|---------|---------|---------|
| 売上高       | 415     | 415     | 460     | 500     |
| (うち精密化学品) | (270)   | (265)   | (315)   | (355)   |
| 営業利益      | 37      | 37      | 47      | 65      |
| (うち精密化学品) | (24)    | (28)    | (33)    | (50)    |
| 経常利益      | 35      | 35      | 47      | 65      |
| 減価償却費     | 55      | 53      | 57      | 53      |
| 設備投資額     | 37      | 37      | 56      | 43      |

関東電化工業株式会社

19

## 設備投資の状況・今後の計画

### □半導体・液晶用特殊ガス

- ① フッ酸電解能力増強 (H22.10)
- ② 三フッ化窒素能力増強 (H23.3: 2,700t→3,000t/年)

### □電池材料

- ① 六フッ化リン酸リチウム設備増強 (H22.5: 950t→1,300t/年)
- ② 六フッ化リン酸リチウム設備増強 (H23.5: 1,300t→2,000t/年)
- ③ FEC設備増強 (H22.5: 100t→250t /年)

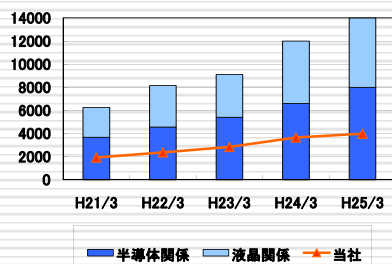
関東電化工業株式会社

20

## —主な製品の見通し— 三フッ化窒素(NF3)

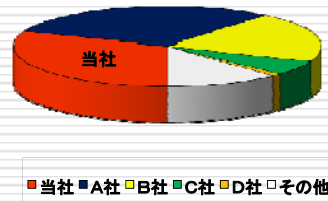
- 半導体・液晶製造プラズマCVD装置のチャンバークリーニングガス。
- 今後の半導体・液晶の生産量増加に伴い、三フッ化窒素の需要は増加する。また、太陽電池向けの需要も期待される。
- 需要増加に対応するため、製造能力を H23年3月に3,000t/年にアップ。

【販売数量(H23/3以降は予想)】



【現在のシェア予想】

当社シェアは約30%



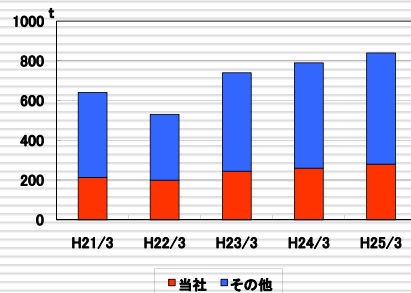
関東電化工業株式会社

21

## —主な製品の見通し— 六フッ化タングステン(WF6)

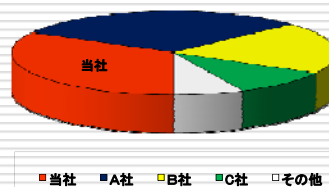
- 半導体用配線材料ガス。
- 半導体の生産量に伴い、需要は増加する見込み。
- H20年3月に製造能力を300t/年に増強した。

【販売数量(H23/3以降は予想)】



【現在のシェア予想】

当社シェアは約3分の1



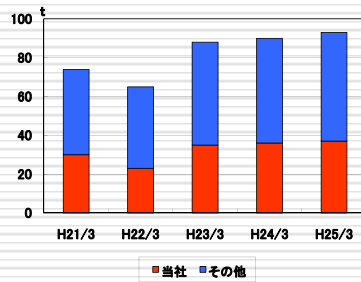
関東電化工業株式会社

22

## —主な製品の見通し—ヘキサフルオロ-1,3-ブタジエン(C4F6)

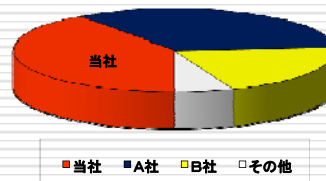
- 半導体酸化膜微細エッチング用ガス。
- 特徴：高アスペクト比エッチングが可能。短い大気寿命により温暖化に対応。
- 微細加工用途として、需要は堅調に推移する見込み。
- H19年11月に製造能力を50t/年に増強した。

【販売数量(H23/3以降は予想)】



【現在のシェア予想】

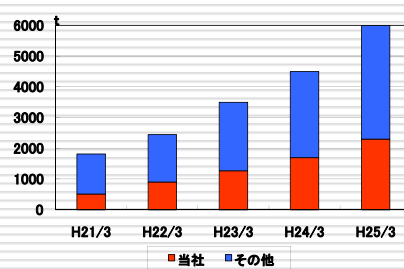
当社シェアは約40%



## —主な製品の見通し—六フッ化リン酸リチウム(LiPF6)

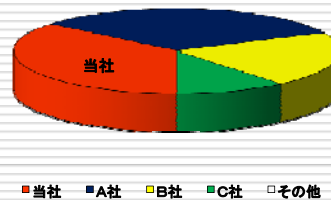
- リチウムイオン二次電池の材料である電解質。
- 携帯電話・ノートPC向け以外の用途先にも需要が拡大している。
- 今後、EV・PHEV・HEV車載用LiB向けの需要が期待される。
- H22年5月に製造能力を1,300t/年に増強した。
- さらに、H23年5月に製造能力を2,000t/年に増強予定。

【販売数量(H23/3以降は予想)】



【現在のシェア予想】

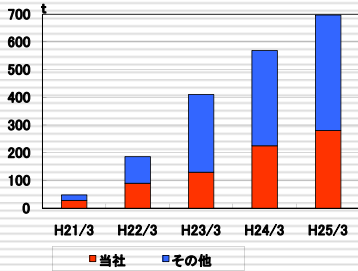
当社シェアは約40%



## ー主な製品の見通しー FEC (フルオロエチレンカーボネート)

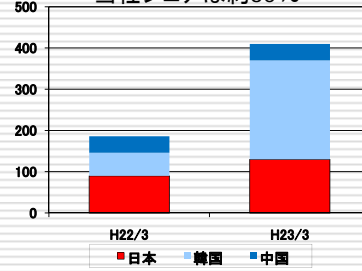
- リチウムイオン二次電池の電解液の添加剤。
- 性能:リチウムイオン二次電池の長寿命化・低温特性の向上。
- H22年5月に製造能力を250t/年に増強した。

【販売数量(H23/3以降は予想)】

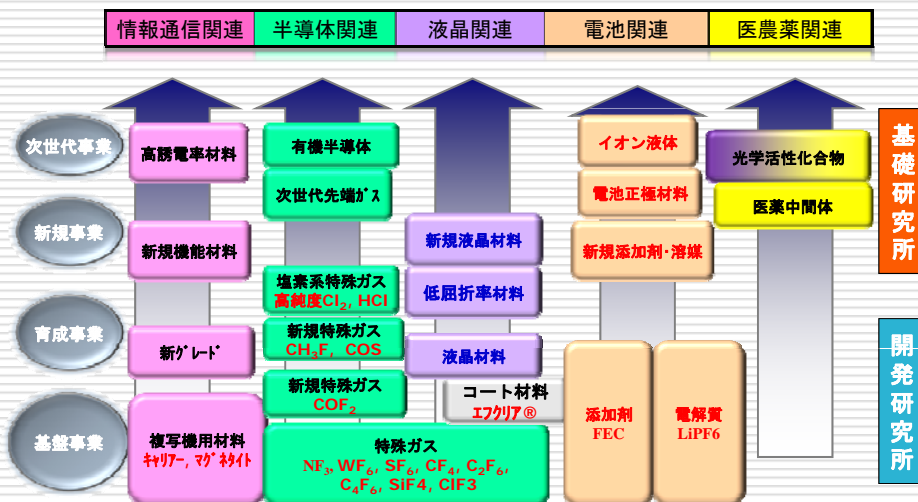


【現在のシェア予想】

当社シェアは約30%



## 当社の目指す事業方向



## 新規製品開発

- H22年4月より上市
  - ・「フッ化カルボニル(COF<sub>2</sub>)」環境対応のクリーニングガス
  - ・「モノフルオロメタン(CH<sub>3</sub>F)」半導体微細加工用エッチングガス
  - ・「硫化カルボニル(COS)」アモルファスカーボンマスク層微細加工用エッチングガス
- 「ホウフッ化リチウム(LiBF<sub>4</sub>)」LiB用新規電解質
- 半導体用高純度塩素
- 電池材料(添加剤、イオン液体)
- 有機半導体材料、新規液晶材料、医薬薬中間体
- 10年後を見据えたコア技術の開発。

環境変化に適応できる創造的開発型企业へ

27

## 注意事項

- 本資料は、金融商品取引法等のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 本資料の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なります。